

加速器セミナー

日時：2003年7月1日（火） 15：00～

場所：中央制御室前会議室

氏名：藤原 守 (Mamoru Fujiwara)

所属：大阪大学核物理研究センター

タイトル：逆コンプトンガンマ線によるパリティ非保存実験

アブストラクト：

原子核のガンマ線遷移でのパリティ非保存は、弱い力と強い力がどのように関わるかを理解する手段である。Wuによるベータ崩壊のパリティ非保存実験と同じ時期に、原子核のガンマ遷移におけるパリティ非保存は1957年に ^{181}Ta 核において発見された。それ以来、この現象は崩壊ガンマ線の円偏光を測定するという極めて困難な実験で研究されて来た。円偏光したSPring-8でのMeV逆コンプトンガンマ線を用いれば、全く新しい手法で、かつ信頼性の高いパリティ非保存実験が可能となることを議論する。